



柏市消費者教育推進連絡会つうしん No.28



< 柏市消費者教育推進連絡会について >

- ◆ 目的 ◆ 柏市の学校における消費者教育の推進
- ◆ 委員 ◆ 柏市教育委員会職員，小，中，高等学校の先生（メンバー：現在14人）
- ◆ 事務局 ◆ 柏市消費生活センター（メンバー：現在6人）

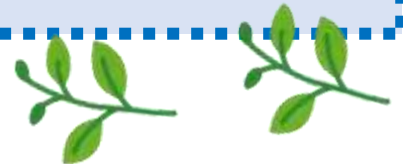
令和4年度第1回柏市消費者教育推進連絡会



成人年齢が18歳となり，消費者教育はますます重要なテーマとなった。
 どの教科でどのような授業を行うことが効果的であるのか，本日の研修内容も参考に，アイデアと工夫で消費者教育を実践し，シェアし，校内でも広めていていただきたい。
 指導課 並木課長（座長）

← 6月22日（水）柏市中央保健センター測定室での第1回連絡会の様子

◆ 令和4・5年度 連絡会委員をご紹介します



指導課	並木 孝樹 指導課長	逆井中学校	井口 菜緒 先生
	玉川 康博 指導主事	松葉中学校	鈴木 健輔 先生
柏第五小学校	井出 菜月 先生	豊四季中学校	安藤 圭彦 先生
田中北小学校	難波 由伎 先生	風早中学校	山口 力輝 先生
酒井根小学校	中川 優香 先生	市立柏高等学校	戸邊 怜香 先生
十余二小学校	矢野 哲平 先生	東葛飾高等学校	富永 翔馬 先生
柏の葉小学校	池田 真菜 先生	佐倉高等学校	佐藤 一樹 先生

・・・研修後の感想から・・・

消費者教育は自分を守るための方法を学ぶものという先入観が消えた！

消費者教育は，自分も社会も幸せになるための教育だとわかった。

目の前の子どもたちが消費者であり，将来の生産者であることに気付いた。

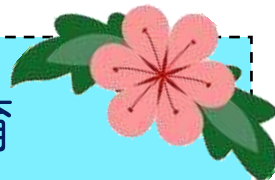
同じ消費者として，教師の役割は「教える」だけでなく「共創」であることがはっきりとした。

低学年のうちから，正しい情報を得て行動できるよう，「考え，意思決定」する練習の場や機会が必要だ。

様々な教科が消費者教育に関わっていることに気付いた。

[研修会] 18歳で成人 子どもたちのための消費者教育

講師：横浜国立大学教育学部教授 松葉口 玲子 氏



研修会の様子

消費者教育はキャリア教育に向かう
スタートカリキュラム

(日本の) 子ども = 消費者・将来の生産者

身近な消費の場面と学校の学びをつなぐ

現実の生活場面で生かす活用力

個人のウェル・ビーイング
社会のウェルビーイング

☆日常生活に目を向ければ、自ずと「社会構造」に目が向く。日々の消費生活はあくまで「出発点」。そこから「考える力」をつけることをお願いしたい！

消費者教育とは

…2012年 消費者教育推進法成立

- ・消費者の自立を支援するために行われる消費生活に関する教育及び啓発
 - ・消費者市民社会の形成に参画することの重要性について理解及び関心を深める
 - ※ 公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会
- ESD（持続可能な社会の創り手を育む教育／SDGs 実現のための教育）に急接近

学校での消費者教育

…特別な単独の内容だと思わなくてよい。SDGsをツールに

- ・「消費生活」は「現実社会とつながる」ネタだらけ
- ・様々な教科で学んだことを、行動に結び合わせていけばよい（全ての教科でできる）
- ・カリマネ、総合的な学習の時間（小、中）・探求の時間（高校）→三つの力UP！
- ・教師の役割は人生の先輩として、共に社会を作り上げていこうとすること
- ・18歳成人

契約上の注意点は「未成年者契約の取消し」ができなくなるの一言。大人になったら何ができるかをしっかり考えていくことが重要（自分の消費生活から考えていくとやりやすい）

授業づくりのためのサイト例

柏市ポータル
様々な教科で！

消費者庁ポータル
教材の検索に！

知るポルト
金融広報中央委員会

SDGs
国連広報センター

